

2019年神奈川県民セーリング大会

兼 第29回藤沢市オープンヨットレース

東日本大震災被災地セーリング復興支援チャリティーレース

帆走指示書 (Sailing Instructions)

1. 規則

本競技会には、セーリング競技規則 2017～2020(以下規則)に定義された規則を適用する。


2. 競技者への通告

- 2.1 陸上本部は江ノ島ヨットハウス1階 A 会議室とする。
- 2.2 競技者への通告は陸上本部に設置された公式掲示板に掲示する。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、その日の第1レーススタート時刻の60分以上前に掲示されるものとする。

4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、クラブハウス前の中央プロムナード沿いのポールに掲揚される。
- 4.2 音響信号1声と共に掲揚するD旗  は、『出艇を許可する。予告信号はD旗掲揚後、30分以降に発する。[艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない]』事を意味する。
- 4.3 指示 5.2 に示した個別のレースに対して回答旗を掲揚しない。予告信号は、D旗を掲揚しない場合、そのレースのスタートは、時間に定めなく延期している。

5. レース日程

- 5.1 登録受付 6月2日(日) 8:30～9:30 登録受付 (湘南港 1階 A 会議室)
9:30～ 艇長会議 (湘南港 2階大会議室)

- 5.2

レース数	最初のレースのスタート予告信号予定時刻 (第1グループ: 緑色旗)
2	11:10

5分毎に次にスタートするクラスの予告信号を発する(規則26による)
第2レースは、第1レース終了後に引き続き第1レースと同様な手順で実施する





5.3 その他の日程

閉会式、成績発表(場所: 2階大会議室)(閉会式の開始時刻は当日公式掲示板に掲示する。)

- 5.4 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために予告信号を発する最低5分以前に音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

6. グループ旗

グループ旗は、以下を用いる。

グループ	グループ旗	リボン色	艇種	ヤードスティックナンバー
第1グループ: 緑色旗		緑色	高速トラピーズ艇	(86以下のトラピーズ艇)
第2グループ: 黄色旗		黄色	2人乗り普通艇	(87～109の艇)
第3グループ: 赤色旗		赤色	シングルハンド艇	(85～109のシングルハンド艇)
第4グループ: 青色旗		青色	低速艇	(110以上の艇)

各艇はレース委員会支給のグループ別リボンをセールのピークに取り付けなければならない。

(ピークが不可能な場合は、トップバテンエンドでも可能だが、はっきり分かるように取り付けなければならない。)

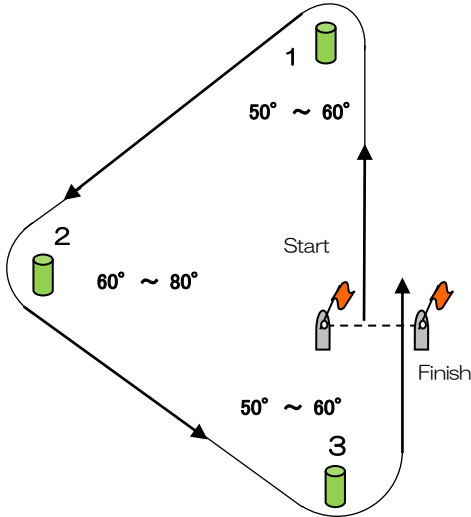
7. レースエリア

レースエリアは江の島ヨットハーバー沖の A 海面である。

8. コース

8.1 下記図にレグ間のおおよその角度、通過すべきマークの順序およびそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

8.2 コースの指示及び第 1 マークまでのコンパス方位はスタート予告信号以前もしくは同時に指示する。



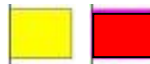
第 1 グループのコース

ヤードスティックナンバー 75 以下

Start-1-2-3-1-2-3-1-2-3-Finish (3周)

ヤードスティックナンバー 77 以上

Start-1-2-3-1-2-3-Finish (2周)



第 2・3 グループのコース

Start-1-2-3-1-2-3-Finish (2周)



第 4 グループのコース

Start-1-2-3-Finish (1周)

9. マーク



9.1 マークは緑色の円錐台ブイとする。

9.2 スタート・アウトサイド・マークはオレンジ旗を掲げたレース・コミッティー・ボート(以下、RC 艇と略す)とする。

9.3 フィニッシュ・アウトサイド・マークはオレンジ旗を掲げた RC 艇とする。

10. スタート


10.1 スタートは指示 5.2 と規則 26 を用いて予告信号をスタート信号の 5 分前として、スタートさせる。

スタートまでの時間	信号種類	視覚信号	音響信号
5分前	予告信号	グループ旗(掲揚) ↑	1声
4分前	準備信号	  P 旗 又は I 旗(掲揚) ↑	1声
1分前	(1分前)	P 旗 又は I 旗(降下) ↓	1声
0	スタート信号	グループ旗(降下) ↓	1声

10.2 スタート・ラインは、スタートマーク上にオレンジ旗を掲揚しているポール間とする。

10.3 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇はスタートエリアを回避しなければならない。

10.4 スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は、DNS と記録される。この項は規則 A4 を変更している。

10.5 ゼネラル・リコールの際、競技艇に知らせるためレース・コミッティー・シグナルボート以外の RC 艇にも第一代表旗  を掲げる場合がある。ただし、その場合、音響信号は発せられない。また、当該 RC 艇が行う第一代表旗の降下については、競技規則レース信号「予告信号は降下の 1 分後に発する。」の意味は持たないものとする。

11. コースの次のレグの変更

スタート後のコースの変更は行わない。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュマーク上にブルー旗を掲げた運営艇のオレンジ旗を掲揚しているポール間とする。

13. ペナルティー方式

規則 42 の違反に対し付則 P を適用する。

14. タイム・リミットと目標時間

14.1 スタートグループ毎に先頭艇フィニッシュ後20分以内にフィニッシュしない艇は DNF と記載される。この項は規則 35 と A4.1 を変更している。

14.2 スタート後各グループの先頭艇が30分以内に最初のマークに到達しない場合、そのレースは中止する。目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは、規則 62.1(a) を変更している。

15. コースの短縮

コースの短縮は行わない。

16. 抗議と救済の要求

16.1 抗議書は、レガッタオフィスで入手できる。抗議は抗議締切時間内に提出しなければならない。

16.2 その日の抗議締切り時間は最終レース終了後 60 分とする。これらの時間は公式掲示板に掲示される。同じ抗議締切時間をレース委員会とプロテスト委員会による全ての抗議および救済の要求に適用する。この項は規則 61.1 と 62.2 を変更している。

16.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に通告するために、抗議締切時間後 20 分以内に通告書を掲示する。審問はレガッタオフィスの中の区切られたスペース、または隣接する部屋で行われる。

16.4 レース委員会はプロテスト委員会による抗議を規則 61.1(b) に基づき伝えるために公示する。

16.5 プロテスト委員会は規則 42 違反を認めたか、またはプロテスト委員会により失格とされた艇のリストを抗議締切時間前に掲示する。

16.6 指示 10.4、18、20 の違反は、艇による抗議あるいは救済の要求の根拠とはならない。

この項は規則 60.1 を変更している。これらの違反に対するペナルティーはプロテスト委員会の裁量により決定する。

16.7 審問の再開を要求する場合、判決を通告された 30 分以内に行われなければならない。この項は、規則 66 を変更している。

17. 得点

17.1 艇の得点はレース所要時間をヤードスティックナンバーで除去した修正時間により順位を決定する。

17.2 ヤードスティックナンバーで同一修正時間の艇はヤードスティックナンバーの大きい方を上位とし、得点を与える。これは付則A7 を変更している。

17.3 シリーズの成立には 1 レースを完了する事が必要である。

17.4 艇のシリーズの得点は、すべてのレース得点の合計とする。これは付則A2を変更している。

18. 安全規定

18.1 出艇申告は登録受付をする事で行われる。(登録受付以降に参加しない場合は、陸上本部に申請しなければならない。)

18.2 帰着申告は艇長の署名をもって行う。帰着した艇の艇長は、帰着後直ちに、レガッタオフィス前に用意される帰着申告書にサインしなければならない。帰着申告書はレース終了後 60 分間用意される。ただし、レース委員長の裁量により、この時間を延長することがある。

18.3 ペナルティー以外の理由でレースからリタイアした艇は、帰着後速やかにリタイアの報告をしなければならない。また、実行可能であればレースエリアを離れる前に RC 艇に通告すること。

19. 運営艇

運営艇の標識は次のとおりとする

レース・コミッティー・ポート(各運営艇)



20. 支援艇

20.1 支援艇は、レース艇及び RC 艇の運行を妨げてはならない。

また、レース委員会の要請がない限り、予告信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。

20.2 天候その他の事情により、レース委員会は支援艇に曳航の要請をする場合がある。

21. 責任の否認

競技者は、完全に自己のリスクでレガッタに参加している。規則 4『レースをすることの決定』参照。

主催団体及びこれに関わる全ての団体、役員その他全ての関係者は、競技者がレガッタ前、レガッタ中またはレガッタ後において受けた物的損傷または個人の負傷もしくは死亡に対して責任を否認する。

22. 無線通信

艇はレース中無線送信を行っても良い。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

23. 肖像権

選手は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手または本大会における選手の装備に関する動画、スチール写真および撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

グループ・ヤードステックナンバー一覧 (KPSF ヤードステックナンバー 2019年版)

第1グループ 3周		第2グループ 2周		第3グループ 2周		第4グループ 1周	
艇種	YN	艇種	YN	艇種	YN	艇種	YN
モス(水中翼)	47	シーホース	87	RS100	85	LT17	110
ナクラ17(水中翼)	54	スナイプ	90	Melges14	88	アクタスR17	110
ナクラ17	56	RS200	91	モス	89	ミラー14	110
49er	60	B14スモールリグ	92	RSAero9	89	シーマーチン(1枚帆)	112
国際14	64	420	93	RSVareo	92	HAYAMA12	112
RS800	67	FJ	94	RSAero7	92	ミニホッパー	113
ナクラ5. 2	67	カシオペア	94	シーホッパー	94	デイセーラ	115
ホビー16	70	シカアラ	94	レーザー	95	A級ディンギー	110
RS700	72	RSQuest	94	スパロー	95	K16C	120
FD	75	ミニキャット460	95	RSAero5	95	トッパー	120
第1グループ 2周		ウインドコール	95	シーホッパーSR	98	ミラー	124
505	77	RSVision	95	レーザーラジアル	98	CJ	129
B14	77	Y15	98	B14(齊藤)	100	アクアミューズ	130
WETA	78	シーラス	98	レーザー4. 7	103	ダックリング	140
29er	78	シカアラ(スピンなし)	98	RSフィーバXS	109	ハンザ303(二人乗り)	140
ホビー14	78	K420	100			OP	144
470	80	シーマーチン(2枚帆)	100			ハンザ2. 3(一人乗り)	148
RS500	80	シースパイダー	102			ティワル3. 2	120
セーリングスピリット	80	RSフィーバXL	103			オープンビック	130
ファイアボール	80	RSフィーバXM	106				
シードスポーツ	80						
シーラーク	80						
K16	82						
レーザーVORTEX	82						
SKUD18	82						
テーザー	83						